

4回目Vへ土気高く

埼玉県所沢市のメットライフドームで9月1日開幕する第42回全日本クラブ野球選手権大会（日本野球連盟、毎日新聞社主催）に、和歌山箕島球友会が西近畿地区代表として2年ぶりに出場する。各地区代表の計16チームで争われ、優勝チームは社会人野球日本選手権大会（京セラドーム大阪）への出場権を得る。今年のチームは投手陣の層が厚く、主軸も長打力があり、2年ぶり4回目の優勝を目指して士気も高まっている。

【木原真希】

全日本クラブ野球あす開幕

チームは、6月の大阪・和歌山1次予選、7月の西近畿予選にそれぞれ優勝し、出場を決めた。

エースは3年目の右腕

武器は質、球速とともに

3-0の完封勝ちを収め、西近畿予選の代表決定戦でも先発し、復活

向上したという速球。遠

投を練習に取り入れたことで、体全体を使った投手権優勝に貢献したが、昨年は事故によるけがの影響で満足な投球ができなかつた。今年は大阪・和歌山1次予選決勝で

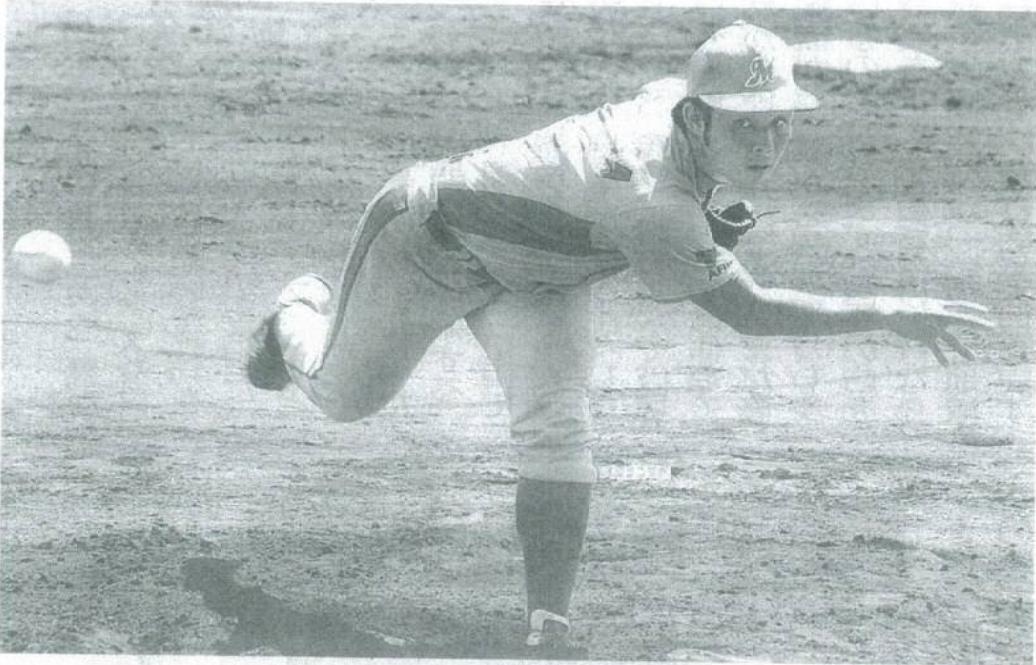
これまで勝負どころで変化球に頼っていたが、直球で空振りが取

れるようになった」と自信をのぞかせる。

田拓也投手（23）も完投で

「野球を続けたい」と地元に戻ってきた。西近畿予選の代表決定戦でも本塁打を放ち、「1番打者として積極的に振って勢いをつけたい」と力強い。

チームは2日午前9時から東北地区代表の東北マーカス（宮城）との初戦に臨む。林尚希主将（27）は「優勝しか考えていない」と意気込み、西川忠宏監督（56）は「相手は投手力が高いので、全力でぶつかっていく。足に小技を絡めたプレーで得点したい」と話している。



カナフレックス（滋賀）とのオープン戦で投球する寺岡大輝投手
＝有田市宮崎町のマツグン有田球場で